

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター所長  
( 公 印 省 略 )

### 病害虫発生予察特殊報について

平成29年度病害虫発生予察特殊報第5号を発表したので送付します。

### 平成29年度病害虫発生予察特殊報第5号

- 1 病 害 虫 名 : スイゼンジナ軟腐病
- 2 病 原 菌 : *Pectobacterium carotovorum* subsp. *brasiliensis*
- 3 発 生 地 域 : 沖縄本島南部
- 4 発 生 作 物 : スイゼンジナ(通称:ハンダマ)

### 5 発生確認及び発生状況

平成29年5月、沖縄本島南部の施設栽培されたスイゼンジナにおいて、茎および葉が軟化・腐敗する症状が確認された。沖縄県病害虫防除技術センター及び沖縄県農業研究センターで診断を実施したところ、*Pectobacterium carotovorum* subsp. *brasiliensis* による病害であることが明らかとなった。スイゼンジナでの発生は国内で初めてである。

### 6 病徴

茎、葉及び新芽がはじめ淡褐色～褐色に変色し、のちに水浸状に軟化・腐敗症状が進展し(図1～3)、最終的に株が枯死に至る(図4)。腐敗臭はほとんどない。

### 7 病原菌の特徴と伝搬方法

本病原菌は細菌の一種で、日本国内ではスイゼンジナ以外にもジャガイモの黒あし病の病原菌として軟化・腐敗症状を示すことが報告されている。土壌や被害残さ中で生存し、生育中の茎葉に付着し、傷口に侵入・増殖して腐敗をおこすものと考えられる。6～37℃で生育し、23～30℃が適温であり、高温多湿条件下で本病の発病が助長される。

### 8 防除対策

- (1) 湿度が高いと被害が大きくなるので、排水・通風をよくする。
- (2) 本病は傷口から感染するので、管理作業や収穫はなるべく晴天や乾燥した時に行い、発病株周辺の管理は最後に行う。
- (3) 被害葉等、軟化・腐敗症状のあるものは発生源となるので、ほ場外に持ち出し処分する。
- (4) 野菜類で登録のある銅剤で防除する。
- (5) 多発生したほ場では、連作を避け土壌消毒を行う。



図1. 茎の症状



図2. 葉の症状



図3. ほ場での発生の様子

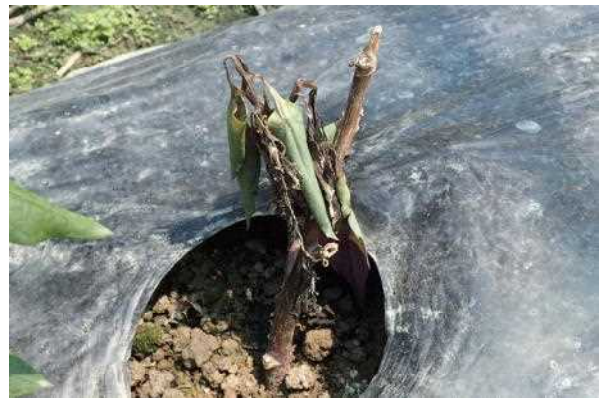


図4. 本病による枯死株

---

★詳しくは沖縄県病害虫防除技術センターにお問い合わせ下さい★

TEL : (本所)098-886-3880、(宮古駐在)0980-73-2634、(八重山駐在)0980-82-4933

ホームページアドレス: <http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichuboj/index.html>